

妊婦さんのご主人に

風しん予防接種の費用を一部助成します



おなかの赤ちゃんを風しんから守りましょう。

風しんは妊婦、特に妊娠初期の方がかかると、お腹の中の赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気があるなど「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがありますので注意が必要です。

予防接種がありますが、妊婦さんは接種することができません。そこで、妊娠期間中は風しんにかからないように気をつけることが大切です。その1つとして、ご主人が風しんにかからないように予防接種を受ける方法があります。

津別町ではこの風しん予防接種の費用を一部助成いたします。

1・いつ予防接種をしたらいいの？

妊娠初期に妊婦さん自身が風しんにかからないことが大切です。ご主人の予防接種はできれば妊娠3か月までにすることがお勧めです。遅くても妊娠5か月までには終わらせましょう。



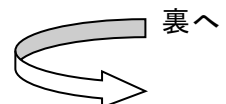
2・妊婦さんであっても、全員が風しんにかかるわけではありません。

次回の妊婦健診で血液検査があります。その検査項目に「風しん抗体検査」が自動的に含まれています。その結果「抗体価が高い、十分ある」方は、風しんに今後かかる可能性は低いので、ご安心ください。「抗体価が低い、不十分である」方は、妊娠中に風しんにかからないように気をつけましょう。結果は通常、次回の妊婦健診（4週間後）にわかります。

★もし「抗体価が低い、不十分である」方で、第2子、3子・・・と妊娠の可能性がある場合は出産後に早めに予防接種をしておきましょう。（裏面をご覧ください）

3・ご主人が予防接種を希望しても、接種しない場合があります。

ご主人も最初に風しん抗体検査を実施します。その結果、「抗体価が高い、十分にある」方は予防接種の必要がありません。なお、抗体検査のみの場合は無料です。



風しんの予防接種をご希望の方

1・対象の方

- 1) 19～49歳の女性（妊娠中はできません。予防接種後は2か月間避妊が必要です）
- 2) 現在妊婦の夫

2・自己負担額

- 1) 事前の風しん抗体検査は無料
- 2) 予防接種をした場合には2,000円
★「風しんのみ」のワクチンは全国的に品薄なため、使用するワクチンは「麻しん風しん混合」となる場合もあります

3・指定病院

丸玉木材株式会社 津別病院 TEL 76-2121

4・接種までの流れ

- 1) 病院へ直接電話予約をします
- 2) 予約日に病院で抗体検査（血液検査）を行います。無料です。
※妊娠中に産婦人科ですでに抗体検査を実施した方は、抗体検査を省略することができます。
(抗体検査日から1年以内の場合のみ)
その際は必ず抗体検査の結果をお持ちください。
(無い場合は証明ができませんので、再度検査が必要になります。ご了承ください。)
- 3) 病院の指定日に結果を聞きに受診します。
- 4) 医師から結果を聞きます。抗体が不十分な場合には、その日に予防接種をします。
- 5) 予防接種をした場合には2,000円を病院に支払います。

5・持ち物

- 1) 健康保険証
- 2) 母子手帳（妊婦の夫である証明のため。女性の方は必要ありません）
- 3) 自己負担額2,000円（抗体検査日は必要ありません）

